

令和7年度入学式 学長式辞

新入生の皆さん、県立広島大学の学部、専攻科、大学院への入学、誠におめでとうございます。

この5年間、新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界の人々は生活が大きく変化し、苦しんでいました。皆さんも、中学生として、そして高校生として対面での教育を受けることができなかったり、また、思うように勉強が進まず、大変辛い思いをされ、進学への不安もあったかと思いますが、そんな環境の中、見事に入学を果たされました。

皆さんの努力に対しまして敬意を表しますとともに、その志を支えて来られたご家族をはじめとした関係者の皆様に対し、心からお喜び申し上げます。

また、本日は年度はじめの慌ただしい時期にもかかわらずご列席を賜りました広島県知事 ゆざき 湯崎英彦 様、広島県議会議員 なかもとたかし 中本隆志 様、県立広島大学同窓会会長 きたむらふみこ 北村富美子 様、庄原市長代理 副市長 やぶきゆうじ 矢吹有司 様、三原市長 おかだよしひろ 岡田吉弘 様、大崎上島町長 たにかわまさよし 谷川正芳 様をはじめ多くのご来賓の皆様方に厚く御礼申し上げます。

ニューヨークのセントラルパークで2023年9月23日開催された「グローバル・シチズン・フェスティバル (GCF)」というイベントをご存じでしょうか。政治とエンターテインメントを融合した音楽フェスで、無名のオーストラリアの若者がビル・ゲイツに直談判し、莫大な資金援助を受けてスタートしました。

GCFは単なる音楽フェスではありません。「地球の持続可能性」や「貧困と飢餓の撲滅」などを理念に掲げ、2012年から毎年行われています。

ビヨンセ、コールドプレイ、BTSといった俳優などが出演してきた超人気イベントで、毎年10万人規模の観衆が集まります。日本では、今年4月からの大阪関西万博期間中に、GCFを開催する計画が進んでいます。これまで9か国で行われてきましたが、アジアでは初の開催です。

この「グローバル・シチズン」という言葉は、2012年に国連が提唱した「グローバル・シチズンシップ・エデュケーション」が起源だといわれています。文部科学省は「地球市民教育」と翻訳しており、「学習者が国際的な諸問題に向き合い、安全で持続可能な世界の構築に率先して貢献するようになることを目指す」と定義しています。

要するに「グローバル・シチズン」とは、「自分の国だけでなく世界的な視野で物事を考え、行動する人」といえるでしょう。

私たちは激動の時代において、この「グローバル・シチズン」を目指さなくてはなりません。

なぜなら、すでに皆さんも実感されていると思いますが、日本で起こっている気候変動や温暖化の問題は、日本という狭い視野だけで解決することはできません。世界はつながっており、さまざまな問題も複雑に絡み合い、影響し合っています。日本という国も「グローバル・シチズン」としての自覚を持

てば、明るい未来が開けるのではないのでしょうか。ここ数年、政治的、経済的な問題から中国が「世界の工場」という立ち位置を失いつつあります。当初はインドがその受け皿になると言われていましたが、インド人の国民性などから、そのポジションは限定的なものになりつつあります。

一方、台湾最大の半導体メーカーTSMC が熊本に工場を建設するなど、世界の工場としての立場を日本が取り戻しつつあります。日本人の優秀さと勤勉さ、円安が注目され、九州や北海道に大規模な工場が次々と建設されているのです。さらに、日本では「特許技術が盗まれる心配がない」ということも、世界各国の先端技術を持つ企業に注目されている理由の一つです。産業的なチャンスをつかむためにも、「グローバル・シチズン」を目指す必要があります。

わたしたちはいま、第四次産業革命の真ただ中にいます。

1700年代後半、イギリスで第一次産業革命がおこりました。蒸気機関による動力を機械化させて作業効率を大幅に向上させました。1800年代後半には第二次産業革命がおこり、電力を用いて工場での大量生産を可能にしました。1900年代後半には第三次産業革命がスタート。コンピューターによる計算や作業が可能になりました。2000年代前半、第四次産業革命「インダストリー4.0」が巻き起こりました。

AI と IoT によって、データ収集、解析が行われ、生活や産業において機械の自動化が可能になりました。あらゆるモノがインターネットにつながった IoT、どんな質問にも一瞬で答えてくれる生成 AI など、すべてものが自動化されていきます。

例えば、画像認識技術です。最新の駐車場では駐車券が発行されなくなりました。AI が車のナンバープレートを自動的に読み取り、その番号と照合して料金を支払うシステムになっています。無人レジは、すでにユニクロなど一般店舗でも始まっています。入店した顧客の顔を画像認識し、手に取った商品も画像認識し、退店時に決められた決済手段で自動的にお金が支払われるシステムに変わっていきます。自動運転の時代が来るのもそう遠くないかもしれません。言葉の壁も無くなっていくでしょう。すでに、グーグル翻訳などで実現していますが、今後、世界中の人たちと話したり、文字を書いたりした場合、たちどころに通訳・翻訳してくれます。

これからの学生時代に起こる日常生活の変化は、まだまだあります。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全世界的にリモートワークが普及しました。新型コロナの影響が収まったあとも、人々はいちいち移動するのではなく、オンライン（zoom や line）で仕事をしたり、コミュニケーションをとったりしています。将来的にはメタバースが普及してくるでしょう。ビジネスやエンターテインメントの形態が大きく変わるかもしれません。

一方、世界に目を向けてみると、アメリカ一国が支配的な力を持つ世界は終わり、グローバル・サウスをはじめとする発展途上国が力を持ち始めています。

東南アジア、中南米、中東、中欧諸国をエマージングカントリーと呼びますが、注目される国々には「BRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ)」「VISTA (ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン)」「NEXT11 (ベトナム、韓国、インドネシア、フィリピン、バングラディシュ、パキスタン、イラン、エジプト、トルコ、ナイジェリア、メキシコ)」というグループがあります。

近いうちに、インドやブラジルなどの経済発展国は、アメリカや中国、ロシアなどに対抗する第四の勢力になるでしょう。日本も新たなパワーバランスの中で、巧みな外交戦略や協力体制を構築することが必須となります。

文明が誕生してから数千年間、私たちは固定観念に縛られた世界で生きてきました。今日のような変化の大波を乗り越えるには、間違った思い込みを捨てられるかが大切です。それが皆さんの人生を左右します。

では、どうしたら固定観念を捨てることができるでしょうか。

それに必要な能力はまず柔軟性です。時代の変化に対応できる、柔軟な思考や行動がとれることです。新しい知識やスキルを学び、適応することが重要です。

次に、自己成長です。新しいことに関心を持ち、常に学び続ける姿勢が大切です。自分のスキルや知識を広げていくことが求められます。

第3にコミュニケーション能力です。複雑化する時代には、多様な人々と協働しなければ問題解決できません。そのためには、コミュニケーション能力が重要となります。異なるバックグラウンドの人々と協力して、目標に向かって進む力が大切になります。

そして、創造力です。新しいアイデアを革新的な方法で形にする、創造性が必要になります。

皆さんには、柔軟に物事を考え、独自の視点で問題解決ができるようになっていただきたいと思います。幅広い体験から知識を使いこなす知恵を身に付けて、人間力を磨いてください。そして、自分のため、家族のため、未だ見ぬ未来のため、あなたの夢を実現させて下さい。

本日は、県立広島大学への入学、誠におめでとうございます。教職員一同、心から歓迎いたします。

令和7年4月4日

県立広島大学

学長 森永 力